

イカナゴ類夏眠場調査の結果について

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

イカナゴ類の夏眠場と想定される下図3海域について、2021年9月から10月にかけて空釣り及びビームトロールで分布状況を調査しましたので、その結果をお知らせします。

佐井村沖では1996年に300個体が採捕されましたが、今年は全く採捕されませんでした。むつ市大畑町沖では3歳魚が1個体採捕されましたが、2019年の4個体と比べると採捕数は減少し、2001年の340個体と比べると遥かに少ない状況でした。東通村尻労沖では2016年に59個体の採捕がありましたが、今年の採捕はないことから少ない状況にあることが分かります。以上を踏まえると、いずれの海域も分布は極めて少ない状況が続いていると考えられました。

当所では今後も資源動向のモニタリングを継続していく予定です。漁業関係団体の皆様にご理解を賜いますようお願いいたします。

(担当: 資源管理部)

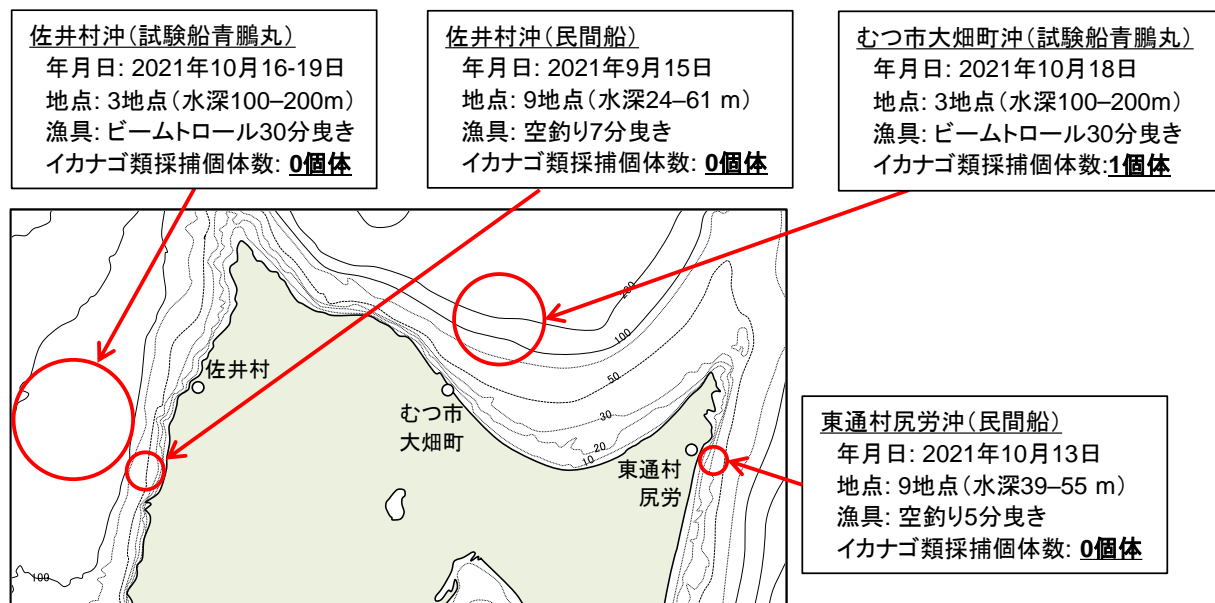


図. イカナゴ類夏眠場調査の結果